
令和4年度（2022年度）活動報告書

熊本県博物館ネットワークセンター

1 展示活動

(1) 企画展示

① 昔のお金と今のお金

開催期間 令和4年(2022年)5月31日(火)～令和4年(2022年)7月31日(日)まで

協力 日本銀行金融研究所貨幣博物館、奈良文化財研究所
日本銀行、財務省

後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 558人

展示点数 177点

担当 後藤鮎子、堤将太、古澤広大



令和4年5月31日(火)～令和4年7月31日(日)
午前9時～午後5時

場所: 熊本県博物館ネットワークセンター
後援: 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会
協力: 日本銀行金融研究所貨幣博物館
奈良文化財研究所 日本銀行 財務省



(展示趣旨)

私たちの身近に存在するお金は、古代から現代まで、社会や人々の経済活動の状況に応じて様々に変化してきた。古代における最初の貨幣鑄造から中国銭を使用した時代、金・銀・銅の貨幣制度が全国で統一された江戸時代を経て、現在のお金の単位である「円」が登場し、現代に至るまで「円」が用いられている。

本展示では、古代から現代にかけてのお金の変遷に注目し、貨幣経済の変化と社会や文化のつながりについて紹介した。

(展示構成と主な展示資料)

(7) 近世以前のお金

古代、中世、近世のお金の変遷を時代背景とともに紹介。

(主な展示資料)

無文銀銭(写真)、富本銭(写真)、和同開珎銅銭(写真)
乾元大宝(写真)、開元通宝、皇宋通宝、洪武通宝(写真)、
天正大判(天正長大判)(写真)、慶長小判(写真)、
豆板銀、寛永通宝一文銅銭、銭さし



(イ) 近代のお金

新たな貨幣制度を定めた法令である「新貨条例」が制定されてからの近代の紙幣や硬貨、貨幣制度の成り立ちを紹介するとともに、その図柄についても説明。

(主な展示資料)

民部省札金1朱、明治通宝10銭、国立銀行兌換紙幣1円、
日本銀行兌換銀券旧100円(大黒)(写真)、日本銀行兌換券
丙号10円、政府紙幣50銭(富士桜)、日華事変乙号10円、
日華事変軍票戊号1銭、10銭陶貨(写真)



(ウ) 現代のお金

戦後以降のお金について、図柄や大きさ、素材について時代背景とともに紹介。

(主な展示資料)

日本銀行券 A 号 100 円券、政府紙幣 B 号 50 銭券、
日本銀行券 B 号 500 円券、鳳凰 100 円銀貨（写真資料）、
穴なし 50 円ニッケル貨、稲 100 銀貨、1 円黄銅貨、
大型 50 銭黄銅貨（写真）、鳩 5 銭錫貨



(エ) 別展示

明治時代以降に日本の植民地及び占領地で発行された在外銀行券について紹介。

(主な展示資料)

満洲中央銀行券乙号 1 円券、満洲中央銀行券丙号 100 円券、
朝鮮銀行改造 1 円券、朝鮮銀行支払金票 50 銭紙幣、
台湾銀行甲 1 円券、中国聯合準備銀行 10 円紙幣（10 元券）



関連企画

展示解説

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和 4 年（2022 年）6 月 25 日（土）

参加人数 3 名

担 当 後藤鮎子、堤将太

③ 熊本県・モンタナ州姉妹提携 40 周年記念

恐竜に挑む科学者たち～モンタナの化石が解き明かす恐竜の謎～

開催期間 令和 4 年（2022 年）8 月 9 日（火）～令和 4 年（2022 年）10 月 10 日（月・祝）

共 催 御船町恐竜博物館

後 援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

協 力 熊本博物館 天草市立御所浦白亜紀資料館

観覧者数 2022 人

展示点数 71 点

担 当 高口幹世司、廣田志乃、池上直樹（御船町恐竜博物館）

(展示趣旨)

熊本県とモンタナ州が姉妹提携を結んで今年でちょうど 40 周年の節目にあたることにちなんで、熊本県とモンタナ州が中心的に交流を深めてきた分野である恐竜関連の展示を行った。

これまでに解き明かされた恐竜についての数々の謎を、科学者たちに焦点を当てながら、関連する恐竜関連資料の展示とともに紹介した。主に熊本県やモンタナ州産の資料を取り扱うことで、双方の自然や文化についての理解を深めることを目的とした。



(展示構成と主な展示資料)

科学者によって解き明かされた恐竜や中生代の古生物についての数々の謎を、その論文とともに紹介した。

(ア) 恐竜の時代の生きもの

恐竜が栄えた中生代の生物について、熊本県内で産出した化石や熊本県にゆかりのある科学者の調査研究を紹介した。県内の化石については、協力館である天草市立御所浦白亜紀資料館所蔵の資料も展示した。

(主な展示資料)

ウタツサウルス、メガロドン、ミフネリュウの歯（レプリカ）、獣脚類の足跡（レプリカ）、シダの仲間、広葉樹の葉、八代産恐竜化石（レプリカ）



(イ) 恐竜に挑む

恐竜とは何か、近年提唱された新たな恐竜の分類を紹介。また大発見の根底となる恐竜化石を標本にするまでの過程を、御船町恐竜博物館が進めるプレパレーションプロジェクトを例に紹介した。

(主な展示資料)

ディプロドクス頭骨（レプリカ）、ヴェロキラプトル頭骨（レプリカ）、熊本モンタナ自然科学博物館協会の紹介パネル



(ウ) 恐竜の謎を解く

科学者によって解き明かされた革命的大発見を世界的な恐竜化石産地として有名なモンタナ州産の化石とともに紹介した。また、熊本県とモンタナ州の姉妹提携を象徴するトロオドン卵化石（熊本博物館所蔵）や熊本県とモンタナ州立大学附属ロッキー博物館の連携の証となる覚書を展示した。

(主な展示資料)

トロオドン卵化石（レプリカ）、マイアサウラ脛骨、ティラノサウルス頭骨（レプリカ）、ディプロドクス類頸椎骨（レプリカ）、始祖鳥（レプリカ）、モンタナ州知事からの親書、熊本県とモンタナ州立大学附属ロッキー博物館との覚書



関連企画

オンライン講演会

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター学習ルーム
(サテライト会場として)

開催期日 令和4年（2022年）8月27日（土）

参加人数 6人

担 当 高口幹世司、廣田志乃



展示解説会

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター学習ルーム及び展示室

開催期日 令和4年(2022年)9月25日(日)

参加人数 12人

担 当 高口幹世司、廣田志乃、池上直樹(御船町恐竜博物館)



③ 熊本の動物と法—天然記念物・希少野生動植物・特定外来生物—

開催期間 令和4年(2022年)10月18日(火)～令和4年(2022年)12月18日(日)

後 援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 877人

展示種数 63種

担 当 竹原千晶、中藺洋行



(展示趣旨)

私たちの身近に存在する自然やそこに住む生き物たちは、今破壊と絶滅の危機に瀕している。絶滅が心配される生き物を守るため、あるいは「資源」として持続可能に利用していくため様々な条約や法律があり、熊本県にも独自の条例や規則などが制定されている。これらの法律等に登場する生物を、当センターの標本を用いて紹介することで、熊本県に生息する動物や生態系への理解を深め、自然環境保全への取組がさらに進むことを目的とした。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 外来生物法

外来生物法と、熊本県に生息する特定外来生物の動物の紹介

(主な展示資料)

クリハラリス、ガビチョウ、オオクチバスなどの標本・写真。11種。

(イ) 文化財保護法

文化財保護法と、熊本県に生息する国指定の天然記念物・特別天然記念物の動物の紹介

(主な展示資料)

ニホンカモシカ、コウノトリ、オオサンショウウオなどの標本・写真。9種。

(ウ) 文化財保護条例

文化財保護条例と、熊本県指定の天然記念物の動物の紹介

(主な展示資料)

ベッコウサンショウウオ、アマミサソリモドキなどの標本。3種。

(エ) 種の保存法

種の保存法と、熊本県に生息する国内希少野生動植物種・国際希少野生動植物種の動物の紹介

(主な展示資料)

クロツラヘラサギ、アマクササンショウウオ、タガメ、イシカワギセルなどの標本・写真。26種。

(オ) 熊本県多様性保全条例

熊本県多様性保全条例と、熊本県指定希少野生動植物の動物の紹介

(主な展示資料)

コバネアオイイトトンボ、ダイコクコガネ、オオルリシジミなどの剥製・標本。11種。

(カ) RDB(レッドデータブック)・RL(レッドリスト)と法律・条例

RDB・RL と法律・条例の関係についての紹介

(主な展示資料)

RDB くまもと 2019・閲覧用資料。7冊。

(キ) 鳥獣保護管理法

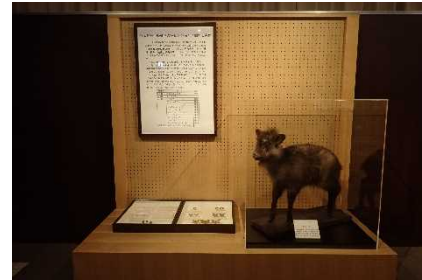
鳥獣保護管理法とその対象についての紹介

(主な展示資料)

ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミの剥製・標本。3種。

(ク) 自然公園法

自然公園法と熊本県内の自然公園、規制される行為についての紹介



関連企画

展示解説

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和4年(2022年)11月13日(日)

参加人数 14人

担 当 竹原千晶、中菌洋行

④ ちょっと昔の暮らし探検

開催期間 令和5年(2023年)1月4日(水)～令和5年(2023年)3月5日(日)

後 援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

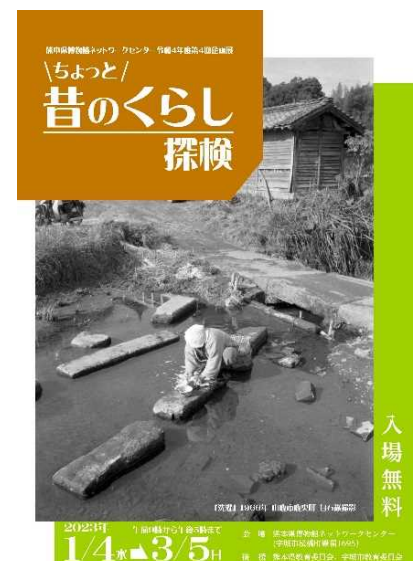
観覧者数 1081人

展示点数 117点

担 当 國本信夫、原田信敬、迫田久美子

(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけての高度経済成長の下、社会はこれまでにないスピードで変化した。人々の生活も、様々な場面で機械や電化製品が使用されるようになり、生活のあり方や感覚も変化していった。かつては普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、道具をとおして暮らしの変化を実感し、変化の意味を考える機会とすることを目指した。



(展示構成と主な展示資料)

(ア) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

(主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、鯉節削、石臼



(イ) もっと明るく、もっと暖かく

オール電化の住宅では日常で炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

(主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、火鉢、こたつ、電気行火



(ウ) 洗濯と裁縫

今は水道の蛇口を開けば水が出るのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、たらいで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

(主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯板、電気洗濯機、炭火アイロン、



(エ) 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介。

(主な展示資料)

鍬、犁、田下駄、田植綱、雁爪、千歯抜き、足踏み脱穀機



(オ) 昔の暮らし・これからの暮らし

昔の道具や生活様式などから、現代の便利な生活の裏にあるゴミや地球温暖化などの問題を考えるきっかけとなるような小テーマを設定し、買い物籠や湯たんぽ、修復跡のある道具を展示した。



(特記事項) 団体見学 4団体、出前講座2校

見学時には展示説明のほか、小学校の利用では、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。

⑤ 身近で出会う ちょっとあぶない?植物

開催期間 令和5年(2023年)3月14日(火)～令和5年(2023年)5月14日(日)

後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

展示点数 標本54点

担当 田尻雅之、前田哲弥、安田晶子

(展示趣旨)

庭、道ばた、田畑、公園…身近な環境には、いろいろな植物があふれています。植物の中には、さわるとケガをしたり、かゆくなったりと、「ちょっとあぶないな?」と感じる植物たちもいます。その「あぶない?」のひみつをさぐり、植物たちの生き残り戦略を、当センター所蔵の標本や写真で紹介します。

(展示構成と主な展示資料)

(ア)「あぶない?」とは

展示の構成に合わせた「あぶない?」を説明する。

(イ) さわると「あぶない?」

触れるとケガをしたり、皮膚炎をおこしたりする植物について、その危険性を説明し、その植物を紹介。

(主な展示資料)

ワルナスビ、アリドオシ、メリケントキンソウ、ハゼノキなど

(ウ) 食べると「あぶない!?!」

食中毒を起こしやすい、あるいは起きた事例のある植物について、その危険性を説明し、その植物の紹介。

(主な展示資料)

マムシグサ、チョウセンアサガオ、ヒガンバナなど

(エ) さわらなくても「あぶない!?!」

アレルギーを引き起こす、特に花粉症を起こす植物の説明と紹介。

(主な展示資料)

スギ、カモガヤ、ヨモギ、カナムグラなど

(オ) もってたら「あぶない」

法的に規制のある植物の紹介。保護種、特定外来生物、アサ、ケシなどの麻薬植物などの紹介。

(主な展示資料)

ブラジルチドメグサ、オオキンケイギク、ボタンウキクサなど



(2) 移動展示

① 第4回荒牧英男写真展

上色見いまむかし

会 場 阿蘇フォークスクール

開催期間 令和4年(2022年)10月22日(土)
～令和5年(2023年)9月30日(土)

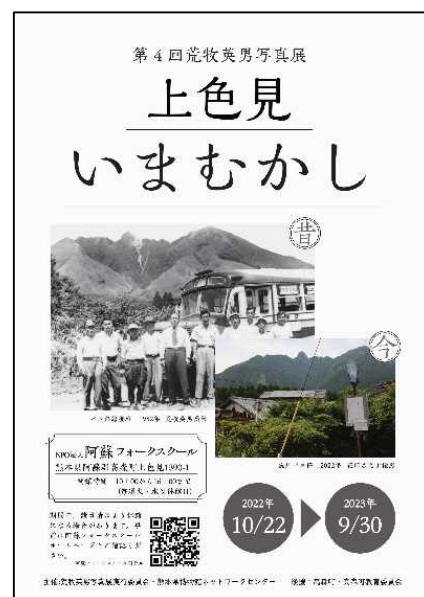
共 催 荒牧英男写真展実行委員会

後 援 高森町、高森町教育委員会

展示点数 50点

展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏が撮影した様々な上色見の風景を調査し、同じ場所から見える現在の風景を荒牧氏が残した写真とともに展示した。

担 当 國本信夫、原田信敬、迫田久美子



② 海辺の植物

会 場 上天草市 天草ビジターセンター

開催期間 令和5年(2023年)1月11日(水)～令和5年(2023年)2月13日(月)

展示点数 18点

展示概要 主に天草の海岸域の厳しい環境を生き抜く海岸性の植物の形態や機能、そして生き方を標本やパネルで展示。

担 当 田尻雅之、前田哲弥、安田晶子



(3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を展示することで、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行い、さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することから、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。

熊本県博物館ネットワークセンターサテライト展示室での展示をきっかけに自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① 展示場所及び面積

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m²

② 展示資料

区 分	展示資料種数	展示資料例
動 物	哺乳類	39 種 カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57 種 クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16 種 アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16 種 カスミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47 種 アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425 種 オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246 種 タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ
	その他	31 種 ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラゲモ
植 物	維管束植物	63 種 スダジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15 種 ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19 種 オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合 計	974 種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



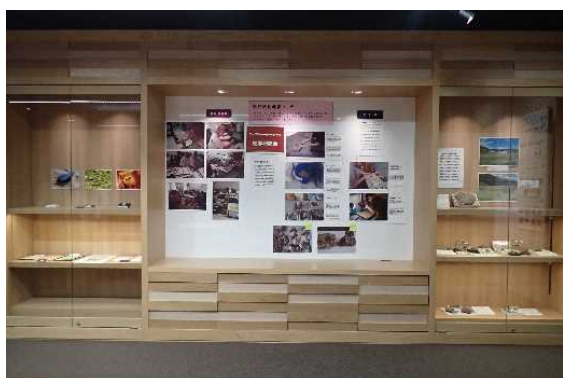
○ 菌類



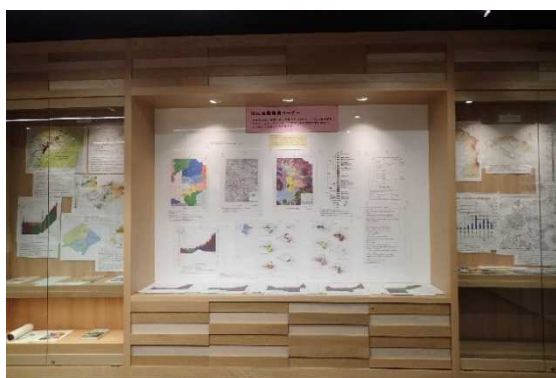
③ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、県民の博物館活動の成果等を展示している。

○ MPC 地学研究会 令和4年9月～



○ 熊本地盤研究会 令和5年3月～



④ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館（フィールドミュージアム）として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

- 西ノ浦森林スポーツ林周辺（水俣市）
令和4年6月～



- 岳間溪谷（山鹿市）
令和4年9月～



- 姫戸町二間戸（上天草市）
令和4年12月～



- 小岱山 中・南部（玉名市）
令和5年3月～



(4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年(2019年)3月17日(日)、阿蘇火山博物館2階に開設。当センター所蔵の資料を用いて、阿蘇を中心に熊本の自然や文化についての展示を行う。

① 熊本県内のいろいろな化石や岩石(常設展示)

展示点数 33点

展示概要 化石、岩石、石材の3つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について伝える。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。

担当 高口幹世司、廣田志乃

② 水辺の植物 阿蘇編

開催期間 令和3年(2021年)11月15日(月)～令和4年(2022年)5月20日(金)

展示点数 19点

展示概要 阿蘇の代表的な景観である草原の内部には湿地や遊水地が点在し、阿蘇で発見されたハタベカンガレイなど、貴重な水辺の植物たちの生育地となっている。この阿蘇の水辺環境に生息している植物たちを紹介する。

担当 田尻雅之、前田哲弥



② 牛馬とともに

開催期間 令和4年(2022年)5月20日(金)～令和4年(2022年)11月24日(木)

展示点数 19点

展示概要 牛馬とともにある暮らしがあたりまえだった時代の暮らしの様子と、どの家にもある身近なものだった牛馬関連のさまざまな道具を紹介する。

担当 國本信夫、原田信敬、迫田久美子



④ 甲斐有雄の見た西南戦争

開催期間 令和4年(2022年)11月24日(木)～令和5年(2023年)5月中旬

展示点数 13点

展示概要 高森出身で熊本県近代文化功労者である甲斐有雄は、西南戦争に政府軍の軍夫として従軍した体験を日記に記録している。西南戦争に対する有雄の軍夫としての視点を、明治十年日記や軍夫受払帳とともに紹介している。

担当 後藤鮎子、古澤広大、堤将太



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。平成27年（2015年）10月より運用開始。

参加館等

27館、5市町村（令和5年（2023年）3月31日現在）

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本どこでもミュージアム

事業目的

インターネット上で熊本の自然と文化の紹介、県内博物館等施設の紹介、実験・創作・観察方法などの紹介を視聴できるサイトを「熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト」内に作成し、コロナ禍において活動が制限される状況下でも、いつでも、どこでも博物館を身近に感じることができる機会を提供する。令和3年3月より運用開始。

事業内容

「バーチャルミュージアム」、「ミュージアムをのぞいてみよう」、「できた！みつけた！」の3つの項目で構成。それぞれに県内博物館等各館が記事を投稿することができる。

①バーチャルミュージアム

熊本県内ミュージアムが自然や文化の魅力について発信（登録記事 58件）

②ミュージアムをのぞいてみよう

熊本県のミュージアムについて発信（登録記事 8件）

③できた！みつけた！

自宅でできる実験・創作の紹介や熊本県内のおすすめフィールドについて発信（登録記事 24件）



※登録記事数は、令和5年3月31日現在。

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内「熊本どこでもミュージアム」

<https://kumamoto-museum.net/kumadoko>



(3) 出版物

① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」）

(7) 52号

発行日 令和4年(2022年)7月7日(木)

掲載内容 [イベント情報] 企画展、
フィールドミュージアムへ飛びだそう！
[資料紹介] 手回し洗濯機 (民俗)

サワガニ *Geothelphusa dehaani* (動物)

アカネ *Rubia argyi* (植物)

天保通宝 (歴史)

ベレムナイト *Belemnites* (地学)



(i) 53号

発行日 令和4年(2022年)11月10日(水)

掲載内容 [イベント情報] 企画展、熊本キッズミュージアム in 宇城、
フィールドミュージアムへ飛びだそう！

[資料紹介] 菱マンガン鉱 *Rhodochrosite* (地学)

押切 (民俗)

ゴマシジミ *Phengaris teleius* (動物)

アリドオシ *Damnacanthus indicus* (植物)

大日本細見道中記 (歴史)



(u) 54号

発行日 令和5年(2023年)3月10日(金)

掲載内容 [イベント情報] 企画展、熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト「熊本どこでもミュージアム」、
博物館ネットワークセンターの学習支援活動、展示活動、

[資料紹介] 贈安藤氏 (歴史)

輝安鉱 *Stibnite* (地学)

買い物籠 (民俗)

カダヤシ *Gambusia affinis* (動物)

スズラン *Convallaria majalis* var. *manshurica* (植物)



② 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) vol.7

発行日 令和4年(2022年)9月30日(金)

掲載内容 [見どころ紹介] 犬飼記念美術館、つなぎ美術館、
天草市立本渡歴史民俗資料館
[コレクション紹介] 清浦記念館
[博物館のお仕事] 熊本市くまもと工芸会館
[博物館紹介] 清和文楽館、水俣病歴史考証館
[展示・イベント案内] 26 館



(イ) vol.8

発行日 令和5年(2023年)3月17日(金)

掲載内容 [見どころ紹介] リデル、ライト両女史記念館、熊本県立装飾古
墳館、八代市立博物館未来の森ミュージアム
[コレクション紹介] 山江村歴史民俗資料館
[博物館のお仕事] 南阿蘇ルナ天文台
[博物館紹介] 熊本市現代美術館、天草ロザリオ館
[展示・イベント案内] 19 館



③ 熊本県博物館ネットワークセンター紀要 第3号

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

発行日 令和5年(2023年)3月17日(金)

掲載内容 熊本県の自然、文化に対する研究の発表

○本多栄喜 他：熊本県秩父帯下部白亜系袈裟堂層の層序と二枚貝化石相

○安田晶子 他：熊本におけるキジバトの食物分析—消化管の部分による比較

○前田哲弥：ナナミノキ(モチノキ科)の開花・結実に関する調査

○中藺洋行 他：熊本県におけるミズカメムシ科4種の記録

○中藺洋行：アンピンチビゲンゴロウの熊本県からの初記録

○永松允積 他：和水町小屋敷の阿蘇-4火砕流堆積物

— 3つのサブユニットの重なりとその基盤の観察 —

○一色華子 他：御船層群下部層(岡岳エリア)から産出した二枚貝化石群集と鑑定法

○前田哲弥：水昌山に生育する維管束植物の調査(中間報告)

○安田晶子 他：熊本におけるセイタカナミキソウの2022年分布調査報告

○廣田志乃 他：霧島巡検報告

○高口幹世司 他：教師のための球磨村総合運動公園における地質の教材化
—理科の見方・考え方を働かせて学習に取り組む子ども達の育成—

○堤将太 他：「秋岡吉左衛門覚書 其ノ二」

○原田信敬：学習指導要領における道具の位置づけの変遷と民具との距離

○村上幸奈：熊本県指定重要文化財 中山観音堂の鰐口

—作品紹介・伝来と鋳物師についての一試論—



3 研修活動

(1) 総合プロデューサー育成研修

① 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

② 研修会

○第1回 「思いをカタチにする企画づくり」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 令和4年(2022年)6月24日(金)

場 所 天草文化交流館

参加者 27名

講 師 特定非営利活動法人 大阪自然史センター
西澤 真樹子 氏

内 容 企画における問題を楽しく解決する事例についての講話や、展示に込めた思いを伝える仕掛けについて考えるワークショップをとおして、県内博物館等施設が抱える課題の解決の一助とする。



○第2回 「博物館法改正とこれからの博物館を考える」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 令和4年(2022年)12月6日(火)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習
ルーム 及び オンライン

参加者 35名

講 師 公益財団法人日本博物館協会
専務理事 半田 昌之 氏

内 容 博物館法の改正に伴い、新たに求められる社会的・地域的課題に対応できる博物館の在り方について学ぶ。



(2) スキルアップ研修

① 目的

講座・実習をとおり資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおり、県内博物館の運営力向上を図る。

② 研修会

○第1回 「水濡れ紙資料の救出・乾燥方法を考える」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

期 日 令和4年(2022年)10月7日(金)

参加者 24名

講 師 国立歴史民俗博物館 研究部 准教授

天野 真志 氏

内 容 水損資料の緊急対応の考え方について学び、乾燥法の実践を行うことにより、資料の保存に係るスキルアップを目指す。



○第2回 「IPMでみえること」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

オンラインで同時配信

期 日 令和4年(2022年)12月6日(火)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 21名

講 師 熊本博物館 学芸員

坂本 直也 氏

内 容 熊本博物館での保存環境の実態やその取り組みを基に、県内博物館等でも実践可能な取り組みを学ぶ。



○第3回 「熊本県内登録博物館、博物館相当施設、並びに「博物館類似施設」を対象とした保存科学概説」

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

期 日 令和5年(2023年)3月3日(金)

場 所 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

参加者 19名

講 師 県文化企画・世界遺産推進課 阿蘇分室 主幹

池田 朋生 氏

内 容 身近な施設の保存環境を見定める際の事例や、展示施設の保存科学上の簡易な評価、見極める視点について学び、資料や標本の保存環境に係る基本的な知識の習得を目指す。



(3) 教員のための博物館の日 in 山鹿

① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

② 研修会

主催 熊本県博物館ネットワークセンター、熊本県立装飾古墳館
共催 国立科学博物館 (公財) 日本博物館協会
後援 文部科学省、熊本県博物館連絡協議会
協力 (公財) 阿蘇火山博物館 天草市立御所浦白亜紀資料館

熊本県環境センター 熊本県立美術館 熊本博物館
玉名市立歴史博物館 ころこピア 山鹿市立博物館

後援 文部科学省、熊本県博物館連絡協議会

期 日 令和4年(2022年)8月4日(木)

場 所 熊本県立装飾古墳館

参加者 51名

内 容 ○講演

「博物館と学校の連携は何のためにするのか? ~博学連携がもたらすものとは?」

講師

宮崎県小林市立須木小学校校長 福松 東一氏(前宮崎県総合博物館学芸課長)

○装飾古墳館展示解説ツアー

○ワークショップ

①天草のお宝探検マップづくり(天草市立御所浦白亜紀資料館)、UV ビーズストラップ作り(熊本県環境センター)、鋳造体験(山鹿市立博物館)

②アートカードで鑑賞ゲームをしよう!(熊本県立美術館)、化石の観察とレプリカづくり(熊本県博物館ネットワークセンター)、「くまはくデジタルコンテンツ」のご紹介~製作・体験、やってみよう!(熊本博物館)~

③シュルレアリズム創作ゲーム(甘美なる死骸)(玉名市立歴史博物館ころこピア)、阿蘇火山博物館実験教室(阿蘇火山博物館)、火おこし体験(熊本県立装飾古墳館)

参加者は①、②、③の中からそれぞれ1つを体験する。(事前申し込み)

時 間	アジェンダ
9:30~10:00	受付
10:00~10:30	講演「博物館と学校の連携は何のためにするのか? ~博学連携がもたらすものとは?~」 講師 福松 東一氏(前宮崎県総合博物館学芸課長)
10:30~11:30	装飾古墳館展示解説ツアー
11:30~12:30	天草市立御所浦白亜紀資料館 天草市立御所浦白亜紀資料館 天草市立御所浦白亜紀資料館
13:30~14:30	UV ビーズストラップ作り 熊本県環境センター
14:30~15:30	アートカードで鑑賞ゲームをしよう! 熊本県立美術館
15:30~16:30	化石の観察とレプリカづくり 熊本県博物館ネットワークセンター
16:30~17:30	くまはくデジタルコンテンツのご紹介~製作・体験、やってみよう! 熊本博物館
17:30~18:30	シュルレアリズム創作ゲーム(甘美なる死骸) 玉名市立歴史博物館ころこピア
18:30~19:30	阿蘇火山博物館実験教室 阿蘇火山博物館
19:30~20:30	火おこし体験 熊本県立装飾古墳館



天草のお宝探検マップづくり



UV ビーズストラップ作り



鋳造体験



アートカードで鑑賞ゲーム
をしよう！



化石の観察とレプリカづくり



「くまはくデジタルコンテンツ」のご
紹介～製作・体験、やってみよう！～



シュルレアリズム創作ゲーム
(甘美なる死骸)



阿蘇火山博物館実験教室



火おこし体験

4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① 春の渡り鳥を観察しよう

開催期日 令和4年(2022年)5月8日(日曜日)
場 所 荒尾干潟水鳥・湿地センター
参加人数 13人
概 要 荒尾干潟にてシギ類など春の渡り鳥の観察。
担 当 竹原千晶、中藺洋行



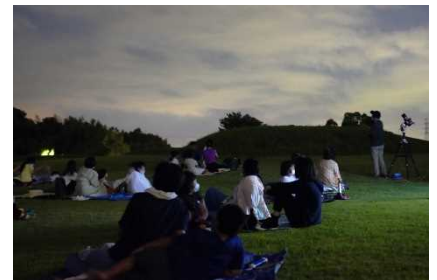
② 川原の石ころ図鑑をつくろう

開催期日 令和4年(2022年)7月30日(土)
場 所 五木村 白滝公園
参加人数 20名
概 要 河原の石を集めて観察し、種類を調べ、自分だけの石ころ図鑑を作った。
講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)
担 当 高口幹世司、廣田志乃



③ 夏の星空を楽しもう

開催期日 令和4年(2022年)8月26日(金)
場 所 熊本市南区 熊本県民天文台
参加人数 42名
概 要 夏の大三角や天の川など、夏の星空の観察を行った。
講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
(熊本県民天文台スタッフ)
担 当 高口幹世司、廣田志乃



④ 水辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和4年(2022年)8月27日(土)
場 所 天草市 福連木子守唄公園
参加人数 18人
概 要 天草市福連木子守唄公園にて、水生昆虫など、水辺の生き物の観察。
担 当 竹原千晶、中藺洋行



⑤ 月の観測をしよう

開催期日 令和4年(2022年)9月9日(金)

場 所 熊本市南区 熊本県民天文台

参加人数 59名

概 要 天体望遠鏡の映像をスクリーンに映し、月の観測や写真撮影を行った。

講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
(熊本県民天文台スタッフ)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



⑥ 化石を探そう

開催期日 令和4年(2022年)9月23日(金・祝)

場 所 上天草市千巖山

参加人数 25名

概 要 地層や化石について専門家の解説を聞きながら、化石を探した。

講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)

担 当 高口幹世司、廣田志乃



⑦ 植物体感ウォーク

開催期日 令和4年(2022年)10月2日(日)

場 所 合志市弁天山

参加人数 21名

概 要 弁天山周辺に生育するさまざまな植物を観察。

担 当 田尻雅之、前田哲弥、安田晶子



※天候不良のため中止した活動

拡大鏡で見てみよう、海辺の生き物を観察しよう、落ち葉図鑑を作ろう

(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 貝類学講座

開催期日 令和4年(2022年)5月14日(土)
 会場 熊本県博物館ネットワークセンター
 受講人数 7人
 趣 旨 熊本県内に生息する貝類について、見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持ってもらう。
 内 容 「貝類学応用編及びまとめ」
 講 師 松本達也 氏
 担 当 竹原千晶、中藺洋行



② 鳥類学講座

開催期日 令和4年(2022年)8月～令和5年(2023年)2月
 会場 熊本県博物館ネットワークセンター(第1、3回)
 雁回山(第2回)
 立岡自然公園(第4回)
 受講人数 40人(計4回)
 趣 旨 生態系において重要な役割を果たしている鳥類について、県内産の種類を中心に生態や同定について学ぶ。
 内 容 第1回 8月6日 「総論 鳥とは」
 第2回 10月8日 「サシバの渡り観察会」
 第3回 12月10日 「座学 熊本の鳥」
 第4回 2月11日 「冬鳥観察会」
 講 師 坂梨仁彦 氏
 担 当 竹原千晶、中藺洋行



③ 植物観察講座(宇土半島編)

開催期日 令和4年(2022年)6月～令和4年(2022年)11月 毎月第4土曜日
 会場 熊本県博物館ネットワークセンター、ほか県内各地
 受講人数 46人(計6回)
 趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、宇土半島の自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。
 内 容 室内講座「植物観察について」、野外実習「海辺の植物」、「海岸林」、「照葉樹林帯」、「植物観察会」、室内講座「まとめ」ほか
 担 当 田尻雅之、前田哲弥



④ 地質学講座

開催期日 令和4年(2022年)7月～令和5年(2023年)1月

奇数月第2日曜日

※11月、1月は、第3日曜日に開催

会場 芦北町総合コミュニティセンター、野外

受講人数 49人(計4回)

趣 旨 芦北町の海岸線沿いを、地層や地形を観察しながら巡り、環境による堆積構造の違いや褶曲・断層、地層の成り立ちについて学ぶ。

講師 田中 均氏(元熊本大学教授)

担当 高口幹世司、廣田志乃



⑤ 熊本の祭りと行事

開催期日 令和4年(2022年)5月～令和4年(2022年)9月 毎月第2水曜日

会場 LOOP みなみあそ

主催 南阿蘇村教育委員会・熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 42人(計6回)

趣 旨 熊本県内で行われてきた季節ごとの祭りや行事を紹介しながら、その意味や内容、熊本の暮らしや伝承文化について学ぶ。

内 容 第1回 5月11日 暦と祭り行事
第2回 6月8日 節句の行事
第3回 7月13日 お盆と正月
第4回 8月10日 農耕と祭り・行事1
第5回 9月14日 農耕と祭り・行事2
第6回 11月9日 熊本の民俗芸能

担当 國本信夫、原田信敬、迫田久美子



⑥ 古文書読み解き講座

開催期日 令和4年(2022年)6月～令和4年(2022年)10月 毎月第1土曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 42人(計6回)

趣 旨 当センターが所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

使用資料 「銀臺遺事」

担当 後藤鮎子、古澤広大



⑦ 高森の歴史講座

開催期日 令和4年(2022年)11月～令和5年(2023年)3月
毎月第3水曜日(2月、3月は第2水曜日)

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 99人(計6回)

趣 旨 博物館ネットワークセンター所蔵の甲斐有雄に関する資料等を用いて、高森町の偉人である有雄の人物像や高森町の歴史を学ぶ。

使用資料 「高森町瀬井家資料」、「高森町安藤家資料」等

担 当 後藤鮎子、古澤広大



⑧ 標本作成講座

開催期日 令和4年(2022年)9月～令和4年(2023年)11月
毎月第3日曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 4人(計3回)

趣 旨 動物、植物、岩石の標本づくりの基礎を学ぶ。

担 当 高口幹世司、前田哲弥、中藺洋行、安田晶子



(3) くまもとキッズミュージアム in 宇城

楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター

後 援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

開催期日 令和5年(2023年)1月21日(土)、20日(日)

参加者数 202人(2日間合計、キッズのみ集計)

(体験プログラム)

1月21日(土)

マンガカルタで遊ぼう! ①、草木染めをしてみよう ②、箱の中に虹をつくろう ③、アートカードで遊んで学ぼう ④、砂の中から小さな化石をさがそう ⑤、古代人が描いた装飾文様のバッジをつくろう ⑥、葉脈標本でしおりをつくろう ⑦、古代人の知恵組紐づくり ⑧



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

1月22日(日)

古銭レプリカをつくろう(⑨)、貝殻クラフト(⑩)、「天草のお宝探検マップ」をつくろう(⑪)、
まが玉をつくろう(⑫)、化石のレプリカをつくろう(⑬)、サイエンスショー(⑭)、
リ・グラスアートをつくろう(⑮)、おもしろ科学あそび(⑯)



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

- 6月29日 ぴあすまいる(化石のレプリカをつくろう 15人)
- 7月2日 合志南小2年3組(化石のレプリカをつくろう 50人)
- 7月14日 こども発達支援ステーション宇土(草木染め 10人)
- 7月28日 不知火学童保育所(葉脈標本でしおりをつくろう 25人)
- 7月28日 ピースインターナショナルスクール(貝殻クラフト 11人)
- 7月31日 中下野口子ども会(葉脈標本でしおりをつくろう 49人)
- 8月9日 SAI 平田教室低学年(葉脈標本でしおりをつくろう 7人)
- 8月18日 SAI 平田教室高学年(化石のレプリカをつくろう 15人)
- 8月20日 武蔵ヶ丘七町内子ども会(化石のレプリカをつくろう 20人)
- 8月28日 出水南1町内子供会(草木染め 35人)
- 10月1日 健軍東小6年PTA(草木染め 60人)

- 10月15日 木葉小3年生（化石のレプリカをつくろう 86人）
- 10月22日 植木小4年生（化石のレプリカをつくろう 71人）
- 11月23日 熊本市城南公民館（化石のレプリカをつくろう 19人）
- 12月4日 田迎小学校PTA（草木染め 5人）
- 12月11日 合志南小5年PTA（草木染め 240人）
- 1月14日 SAI曲野教室（葉脈標本でしおりをつくろう 9人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります

② 講師派遣

- 4月7日 菊池少年自然の家（川原の石、地層観察 15人）
- 4月14日 鹿本農業高等学校（熊本の野草解説 3人）
- 5月5日 装飾古墳館（草木染め 30人）
- 5月19日 熊本県立宇土中学校1年生（動植物・地質実地研修 70人）
- 6月2日 熊本県立宇土中学校1年生（身近な樹木の植生 70人）
- 8月8日 菊池市岩本区（民俗芸能について 30人）
- 8月28日 山鹿市立博物館（アロマキャンドルづくり 21人）
- 9月27日 熊本県立宇土中学校2年生（職業ワークショップ講話 80人）
- 10月27日 御船町立御船小学校（御船川環境調査 55人）
- 12月19日 生涯学習推進センター（講演「生活の中の道具たち」 12人）
- 1月10日 さわやか長寿大学（講演「くらしの中の民俗学」 40人）
- 1月31日 宇土市立宇土東小学校（衣食住の変化について 54人）
- 2月2日 山鹿市立鹿本小学校（衣食住の変化について 69人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります。

(5) 団体利用

- 8月3日 放課後等デイサービスキッズピア（貝殻クラフト 12人）
- 9月11日 熊本記念植物採集会（標本閲覧 15人）
- 10月8日 高等学校科学部地学班（展示解説会 16人）
- 12月1日 県立教育センター（初任者研修 2人）
- 12月7日 宇城市立豊福小学校2年生（施設見学 37人）
- 1月27日 美里町立中央小学校（展示説明、体験学習 25人）
- 2月14日 宇城市立豊野小学校（展示説明、体験学習 28人）
- 3月1日 宇城市立豊福小学校3年生（展示説明、体験学習 120人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていたものの実施されなかったものがあります。

(6) 博物館実習・職場体験

① 博物館実習

期 間 令和4年(2022年)8月17日(水)～25日(木)

実 習 生 熊本大学 4人

実習内容 資料整理および登録業務、展示の作成

8月17日 オリエンテーション、バックヤード見学

8月18日 資料整理・登録業務

8月19日 資料整理・登録業務

8月22日 展示企画書作成

8月23日 展示リスト作成

8月24日 展示キャプション・パネル作成

8月25日 展示設営、展示解説、講評



② 職場体験

受け入れなし

(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 令和4年(2022年)5月28日(土)

登 録 者 数 83人(令和4年度末)

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要

熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動クラブ

① 草木染めの会

活動人数 11人

活 動 日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践



草木染めの会

② 雁回山の植物を観る会

活動人数 16 人

活動日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査

標本や写真を使った企画展示の開催



雁回山の植物を観る会

③ くまもとの大地の成り立ち

活動人数 42 人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

④ 地学研究会

活動人数 8 人

活動日 毎週金曜日

活動内容 寄贈された標本やそれに関連する地学資料の整理

⑤ 貝類調べ隊

会員数 8 人

活動日 毎月第3土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑥ 松橋地域史調査クラブ

会員数 6 人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書（秋岡吉左衛門覚書 其ノ二、其ノ三）の調査（読解）



松橋地域史調査クラブ

⑦ シダを楽しもう会

活動人数 14 人

活動日 毎月第3火曜日及び、第1土曜日または第1日曜日

活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査



シダを楽しもう会

⑧ 甲佐民具を学ぶ会

活動人数 5人

活動日 毎月第1月曜日

活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス

甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成

甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

※活動日については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動内容に応じて各クラブにおいて実施の有無を判断されました。

(9) 学校移動展示用パッケージ

事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類作成。

高等学校

生物分野を9校、地学分野を2校に配置し、運用を依頼。

生物分野は、日本のバイオームを5校に、外来生物を4校に配置。

地学分野は、3種類を1セットとして配置。

学校移動展示用パッケージ（小・中学校用）

熊本県では、県内どこにいても博物館活動に参加できる「熊本県総合博物館ネットワーク」の構築を目指し、熊本県博物館ネットワークセンターを拠点として、企画展示や講座等さまざまな活動を展開しています。

その一環として、熊本県博物館ネットワークセンターでは、学校移動展示用パッケージを作成しています。これは、

当センターが所蔵する、動物剥製、植物標本をはじめ、化石・岩石などの標本を活用し、これらの標本に触れ、解説を伴った展示を見ることで、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習内容を深めるきっかけとすることを目的としています。

各学校での展示及び理科の授業等での積極的な活用をお願いします。

お問い合わせ先

●学校移動展示用パッケージに関するお問い合わせ
熊本県博物館ネットワークセンター
住所：〒964-8601 熊本市中央区南一条5-1-1 TEL：0964-34-3301
e-mail: haku@haku-net.pref.kumamoto.jp

●運用に関するお問い合わせ
各教育事務所
(山鹿・鹿本地域3市町村教育委員会)

主に小学校向け

身近な生きもの

身近にみられる生きものを生息する環境（動物、植物、水辺）で分類して紹介しています

- 両生類（3校）
蛙、水蛙
- 爬虫類（37校）
蛇（17種）、スミ、シロメダカ、ナメタキ、トビ（10種）、ツバメ、アマガシ、クサネなど
- 鳥類（10校）
ツバメ、アマガシ、クサネなど
- 哺乳類（8校）
ササガニ、カマキリ、トンボ、メダカ、イモリなど

熊本のさまざまな石

県内で採れるさまざまな石の紹介とそれらの石がどこで利用されているか紹介しています

- 火山に由来する石とその石（12校）
軽石、流石、花崗岩、黒曜石、角閃岩、大理石など
- 化石と関係して採ってできた石（12校）
化石を包み込んである石、化石、化石、化石など
- 化石（3校）
●手引き（11校）

学校移動展示用パッケージ（小中学校）

(10) 図書館・公民館移動展示用パッケージ

事業目的

図書館や公民館などの展示スペースが限られた施設においても小型の移動パッケージを活用し展示することで、博物館活動に対しての県民の興味・関心を高める。

パッケージ内容

郷土玩具（民俗）、水辺の昆虫たち（動物）、郷土の偉人甲斐有雄さん（歴史）、熊本県で見られる化石～植物編～（地学）、熊本県で見られる化石～動物編～（地学）

図書館・公民館等移動展示パッケージリスト

熊本県博物館ネットワークセンター

1. パッケージリスト（全2種）

全てのパッケージは、長紙（幅180cm）を用いて展示できるようにしています。長紙を1冊ご準備ください（準備できない場合はご相談ください）。

区分	パッケージ名	内容	内容物
1	民俗	郷土玩具	郷土玩具17点 土玩具を収めています。
2	動物	水辺の昆虫たち	川、池、沼など水辺に生息する昆虫の標本を収めています。







(11) リレー講演会

事業目的

一つのテーマについて、県内博物館の学芸員等による様々な観点からの講演会を実施し、県民に多くの視点を提供するとともに、博物館の活動に興味をもってもらう機会とする。

事業内容

「森林と木」をテーマとして、人が生活圏として薪炭や焼き畑、狩猟等で利用してきた九州脊梁山地における生業の在り方（五木村）、さらに、九州脊梁山地の森林の植生や熊本の森林の具体的事例の解説（博物館ネットワークセンター）、伝統工芸品における木材利用の在り方（伝統工芸館）で連続した講演会を実施する。

概 要

主 催 熊本県博物館ネットワークセンター
 開催期日 令和5年（2023年）3月18日（土）、19日（日）、21日（火・祝）
 会 場 熊本県博物館ネットワークセンター（18日）
 熊本県伝統工芸館（19日）
 五木村役場2階会議室（21日）
 参加者数 35人（3日間合計）
 講演内容 「熊本の森林と樹木」
 熊本県博物館ネットワークセンター 前田 哲弥
 「山のくらし」
 五木村教育委員会 木野 徹也 教育課長
 「木の工芸」
 熊本県伝統工芸館 杉井 涼子 主任主事
 池田 昌一郎 主任主事



熊本県博物館ネットワークセンター主催
リレー講演会
「森林と木」 参加費 無料 定員 申込

3月18日 土
 熊本県博物館ネットワークセンター
 18時～20時
 定員 30名 申込 20名

3月19日 日
 熊本県伝統工芸館
 10時～12時
 定員 30名 申込 20名

3月21日 火・祝
 五木村役場2階会議室
 10時～12時
 定員 30名 申込 20名

リレー講演会とは？
 一つのテーマについて、複数の県内の博物館職員が人・土・自然・歴史の様々な分野の視点から話し、学ぶ。今回は「森林と木」がテーマとして

①熊本の森林の植生等（博物館ネットワークセンター）
 ②焼き畑をはじめた「山のくらし」（五木村教育委員会）
 ③伝統工芸品における木材利用（熊本県伝統工芸館）

以上、3つの視点から、各博物館の職員が「森林と木」に関するテーマで講演を行います。
 また、会場を巡って3館実施するので、お近くの会場で受講することも可能です。※1日の受講は県民のみの参加となります。

スケジュール（各会場共通）
 13:30～14:10 〔開演〕開会の挨拶と開会式（18日）
 14:10～14:20 開会式後 休養
 14:20～15:00 〔講演1〕熊本の森林と木（18日）
 15:00～15:10 開会式後 休養
 15:10～15:50 〔講演2〕山のくらし（19日）
 15:50～16:00 開会式後

お問い合わせ先
 熊本県博物館ネットワークセンター
 TEL: 0964-24-5201
 メールアドレス: kankokushin@pref.kumamoto.lg.jp

お申込み方法
 熊本県電子申請サービス（URLもしくはQRコード）もしくは直接申込用紙でお申込みください。
 URL: https://k-kantan.jp/pref.kumamoto-sd/office/office_detail.action?prefSeq=0960

申込期間 各会場定員になり次第締切

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等

27館、5市町村、資料登録件数は478,148件
(令和5年3月31日現在)

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス

<https://kumamoto-museum.net/> (http://jmaps.ne.jp/kumamoto_museum/)



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース (web版) の作成及び公開 (平成27年 (2015年) 10月)

登録者数

44人 (令和5年 (2023年) 3月31日現在)

URL

熊本県学芸員等人材データベース (web版) 公開ページ

<https://kumamoto-museum.net/human>



熊本県内学芸員等人材データベース

本データベースには、熊本県内在住の学芸員等を登録した「熊本県学芸員等人材データベース」のうち、同意を得た方に限り、情報を公開しています。

なお、本データベースの利用に際しては、「熊本県学芸員等人材データベース (web版) 利用規約」の内容を必ず御確認ください。

[熊本県学芸員等人材データベース \(web版\) 利用規約](#)

[熊本県学芸員等人材データベース登録者の皆様へ](#)

[熊本県学芸員等人材データベースへ](#)

(3) 資料収集・整理状況（令和4年度（2022年度））

① 動物分野

資料収蔵点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数		計
		乾燥（剥製等）	液浸	
NB11（哺乳類）		250	127	377
NB12（鳥類）		1,021	1	1,022
NB13（両生・爬虫類）		80	328	408
NB14（魚類）		85	2,111	2,196
NB15（昆虫類）		11,913	417	12,330
NB16（多足類）		21	886	907
NB17（甲殻類）		44	945	989
NB18（軟体動物）		6,456	248	6,704
NB19（その他分類群）		19	35	54
合計	90,900	19,889	5,098	24,987

令和4年度の受入資料

ヤマネ	1点
ヒメネズミ	1点
クマネズミ	1点
モリアブラコウモリ	1点
クロホオヒゲコウモリ	1点
アオバズク	1点
ヒシクイ	1点
ジョウビタキ	1点
メボソムシクイ類	1点
オオルリ	1点
ハイタカ	2点
スズメ	1点
スズメバチ（巣）	1点
アマミサソリモドキ	1点
吉崎一章昆虫標本	約5000点

令和4年度の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録
 立志徹郎貝類標本の整理及び登録
 武藤桂子貝類標本の整理及び登録

②植物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数
NB2（植物）		226,743
NB3（菌類）		2,412
NB4（藻類）		1,395
合計	280,000	230,550

令和4年度受入資料

職員採取標本 約 1,700 点

サルノコシカケ 1 点

ワルナスビ 3 点

令和4年度（2022年度）の主な整理登録作業

職員採集標本の作成

熊本大学標本、熊本農業高校標本、第一高校標本、第二高校標本、フェリス女学院標本の同定、調査、清掃、修理等の登録準備作業

上記標本の登録、配架作業

③地質分野

資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）	登録点数
今西茂標本	2,500	2,497
長谷義隆標本	10,000	569
アトラス熊本標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,310
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	7
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	17
千藤忠昌標本	1,846	1846
植田和男標本	100	96
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	216	216
田中均標本	8,000	88
多良木高校標本	370	370
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0
田中基義標本	800	140
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	330	257
その他（少数寄贈、職員製作など）	1,450	1,152
合計	56,547	27,512

令和4年度受入資料

個人寄贈・職員採取標本 100 点

ミュージアムパートナーズクラブ採取標本 10 点

令和4年度の主な整理登録作業

田中均標本の整理・登録

今西茂標本の整理・登録

田中基義標本の整理・登録

村田正文標本の整理

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

④歴史分野

収蔵資料点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,296
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	520	520
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	560	560
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,676	2,676
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	16
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証文類	300	0

宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	1,300	919
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
上塚穰二寄贈資料	7	7
宇城市森田家資料	47	47
市丸かな子寄贈資料	17	0
宇城市小嶋家資料	441	0
熊本市木下家資料	92	0
土原忠信寄贈資料	3	3
村上孝男寄贈資料	1	1
下川寿幸寄贈資料	7	0
中野敬輔寄贈資料	127	0
その他（購入等）	22	22
合計	42,884	12,000

令和4年度受入資料

該当なし

令和4年度（2022年度）の主な整理登録作業

熊本市辛島家資料、八代市竹田家資料、宇城市小田家資料の整理・登録

熊本市米村家資料、三角千代子寄贈資料の整理

⑤民俗分野

収蔵資料点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数(概数)	登録点数
衣食住	衣	1,000	384
	食	1,000	679
	住	410	279
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱・冶金	11	10
	漁撈・製塩	160	188
	狩猟	10	10
	養蚕・畜産	200	194
	繊維	100	86
	諸職・手工芸	420	392
交通交易	交通	230	159
	交易	150	77
社会	社会	50	28
信仰	神社	30	10
	寺院	50	42
	民間信仰	30	26
民俗知識	教育	230	105
	医療	70	22
	暦	15	7
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	10	0
	娯楽	400	135
儀礼	年中行事	57	54
	人生儀礼	100	40
小計		5,578	3,755
写真資料		154,400	79,329
合計		159,978	83,084

令和4年度(2022年度)受入資料

個人寄贈生活用品等約150点

令和4年度(2022年度)の主な整理登録作業

草野春美所蔵資料、大洞一成所蔵資料、白石巖写真資料

6 資料

(1) 令和4年度(2022年度)職員一覧

所長	松永 築	
参事	國本 信夫	(民俗)
参事	田尻 雅之	(植物)
参事	竹原 千晶	(動物)
参事	後藤 鮎子	(歴史)
参事	高口幹世司	(地質)
主事	原田 信敬	(民俗)
博物館活動囑託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動囑託	中藺 洋行	(動物)
博物館活動囑託	古澤 広大	(歴史)
資料整理囑託	安田 晶子	(植物)
資料整理囑託	堤 将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
 - (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第 9 条 知事は、第 7 条第 1 項の許可を受けた者（次条第 1 項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第 7 条第 1 項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 第 7 条第 2 項の規定により付された許可の条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(4) 前条第 3 号に該当することとなったとき。

（使用料）

第 10 条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第 11 条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。（指定管理者による管理）

第 12 条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第 15 条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第 5 条及び第 6 条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。

3 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第 7 条から 9 条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

4 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第 7 条第 1 項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。

5 第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第 7 条第 1 項（第 3 項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第 13 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 第 3 条第 5 号に掲げる業務

(2) 第 7 条第 1 項の許可に関する業務

(3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

（利用料金）

第 14 条 第 10 条第 1 項の規定にかかわらず、第 12 条第 1 項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に 1.3 を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第 15 条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第 244 条の 2 第 11 項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第 16 条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第 18 条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の 5 倍に相当する金額（当該 5 倍に相当する金額が 5 万円を超えないときは、5 万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 5 号、第 7 条から第 15 条まで、第 18 条及び別表の規定は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

別表(第 10 条、第 14 条関係)

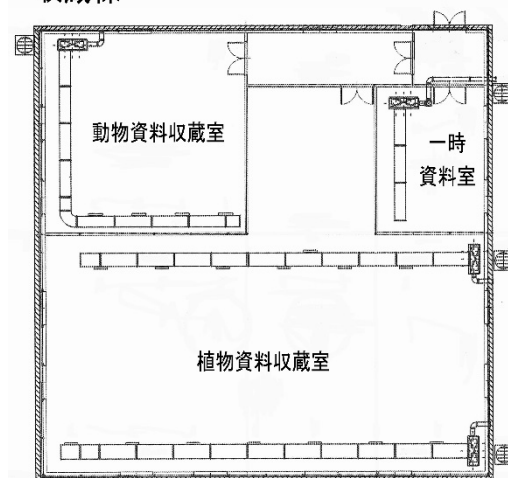
区分		単位	金額
多目的広場	東面	1 時間につき	700 円
	西面	1 時間につき	800 円
多目的広場管理棟会議室		1 時間につき	100 円

備考 使用する時間に 1 時間未満の端数があるときは、その端数を 1 時間とみなす。

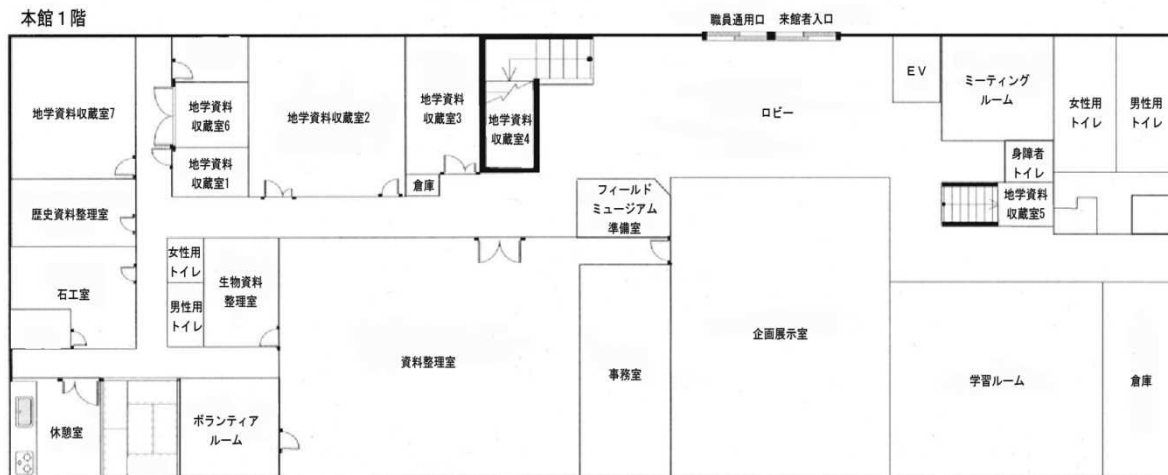
(3) 施設平面図

敷地概要 所在地 宇城市松橋町豊福 1695
面積 61,917.40 m²
建物概要 本館 構造 RC 造 2 階建
建築面積 1643.30 m²
延床面積 2889.27 m²
収蔵棟 構造 RC 造平屋建
建築面積 493.63 m²
延床面積 480.26 m²

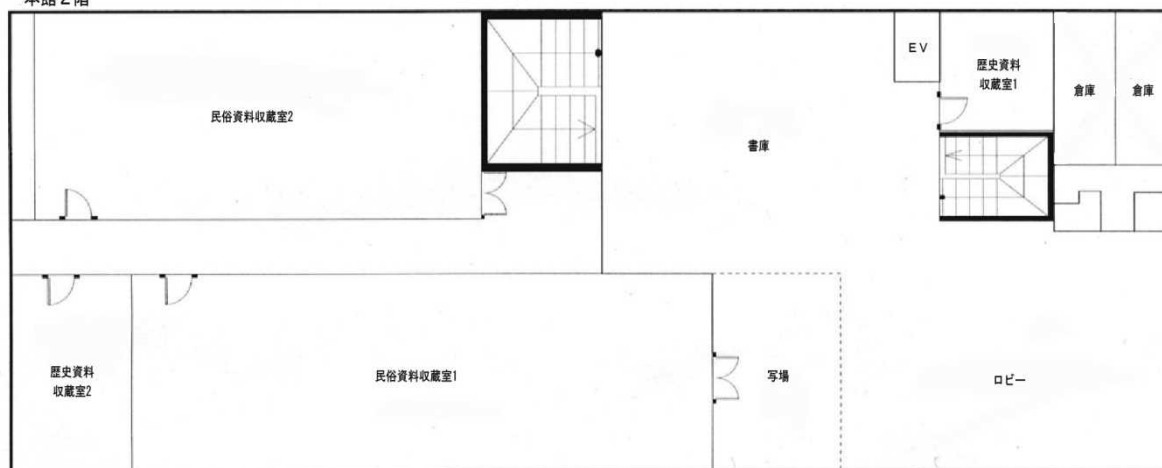
収蔵棟



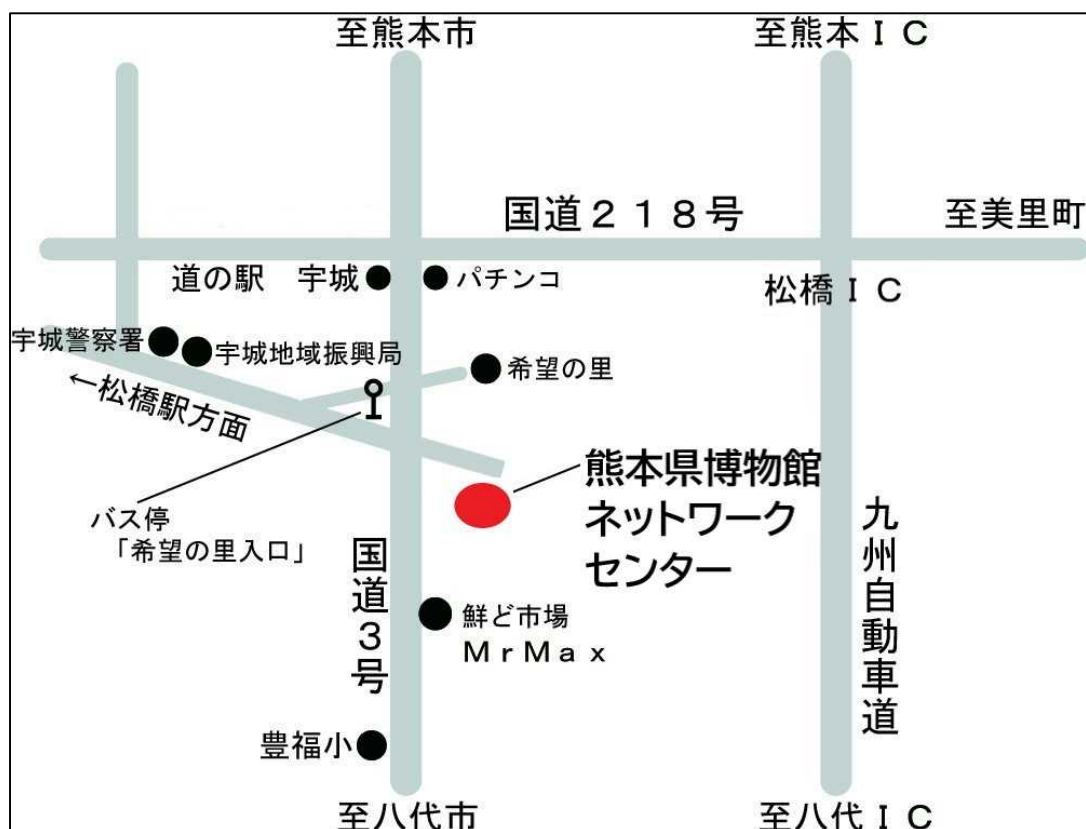
本館 1 階



本館 2 階



(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

令和4年度（2022年度）熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和5年（2023年）5月23日

発 行 者 熊本県

所 属 熊本県博物館ネットワークセンター

ISIL 番号 JP-2004104

発行年度 令和４年度（２０２２年度）